

# イー・ウーマン調査

## 企業における女性活用に関する調査

株式会社 イー・ウーマン  
<http://www.ewoman.co.jp/>

働く女性の活躍が企業の成長に不可欠だといわれている今日、企業や組織はどのように女性と接し、働く女性はそれをどのように感じているのだろうか。イー・ウーマンリーダーズを対象に、2007年3月8日(木)から3月13日(火)まで、「女性活用」に関する調査を実施し、625名から回答を得た。

### ■組織の規模が大きくなるほど、評価に男女差がある傾向…… グラフ1

「あなたが所属する組織で、賃金や昇進、仕事の評価に男女差があるかたずねたところ、全体では「男女差がある」36.8%、「男女差はない」63.2%という結果であった。組織の規模別にみると、「男女差がある」と回答したのは、1,000名以上では42.1%、999名～300名では46.8%、299名～100名では42.9%、99名～30名では33.9%、29名～5名では26.0%、4名以下では22.2%という結果であった。

組織の規模が小さくなるほど、「男女差はない」と回答する割合が多くなり、組織の規模が大きいほど、「男女差がある」という傾向がみられる。

### ■女性の活用に積極的48.6% …… グラフ2

続いて、「あなたが所属する組織は、女性の活用について積極的」かどうかたずねた。全体では、「女性の活用に積極的である」48.6%、「女性の活用に積極的ではない」51.4%という結果であった。組織の規模別にみると、「女性の活用に積極的である」と回答したのは、1,000名以上では47.0%、999名～300名では38.0%、299名～100名では36.9%、99名～30名では51.8%、29名～5名では58.8%、4名以下では61.1%という結果であった。

組織の規模が小さくなるほど、「女性の活用に積極的である」と回答する割合が多くなり、組織の規模が大きいほど、「女性の活用に積極的ではない」という傾向がみられる。

### ■管理職になるために、自分自身で勉強している40.0% …… グラフ3

女性管理職へのサポート状況はどうだろうか。「あなたが所属する組織は、女性の管理職を育成するためにサポートしていることがありますか」とたずねたところ、「サポートしていることがある」はわずか9.6%であった。

一方で、実際に働く女性たちは、企業や組織で活躍したいと思っているのだろうか。「管理職になるために、自分自身で勉強している」かどうかをたずねた。「自分自身で勉強している」と回答したのは40.0%であった。会社や組織に頼らない、女性たちの意識の高さがうかがえる。

### ■メンターは組織外にいる22.4% …… グラフ4

メンター制度の有無について、「メンター制度がある」と回答したのは6.1%であった。「メンター制度がある」と回答した人のうち、「メンター制度が機能している」と回答したのは69.4%であった。実際にメンターはいるのだろうか。全体では、メンターが「組織内にいる」と回答したのは11.8%、「組織外にいる」22.4%、「メンターはいない」69.1%という結果であった。

組織の規模別にみると、組織の規模が小さくなるにつれ、「メンターが組織外にいる」割合が増える傾向にある。一方、「メンターがない」と回答したのはどの組織の規模でも概ね70%前後であり、組織の規模による違いは見られなかつた。

### ■女性が活躍するためにどんな変化があるといい? …… グラフ5

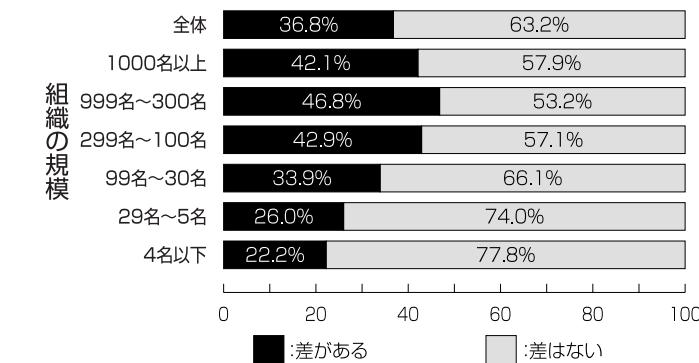
最後に、「あなたが所属する組織で、女性がもっと活躍するためにどんな変化があるといいと思いますか」とたずねた。

「経営陣の意識改革」49.6%がもっと多く、続いて「出産・育児に関連する制度の改革」41.0%、「上司の意識改革」40.0%、「労働時間の柔軟性」37.0%、「人事評価、昇進制度の改革」33.6%、「同僚の意識改革」31.4%、「研修制度の改革」24.6%、「賃金体系の改革」16.2%、「その他」18.1%という結果になった。

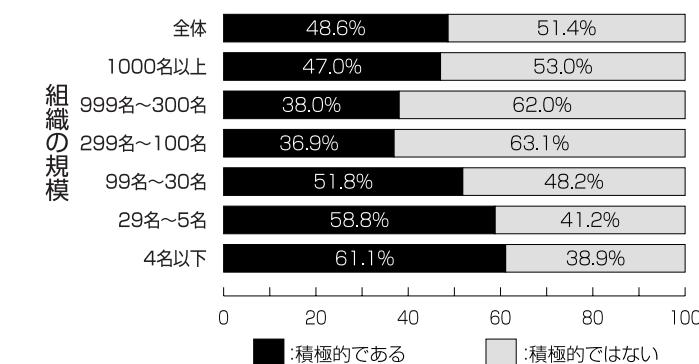
また、女性自身の意識変化を求めるコメントも寄せられた。

- ・「制度的にはいまのままでも十分対応できるが、組織にいる女性自身の意識が変わらなければ、進まないと思う。目標にできる先輩がいればよい」
- ・「女性がもっと女性を助ける体制がとれない限り、女性活用は難しいと思います」

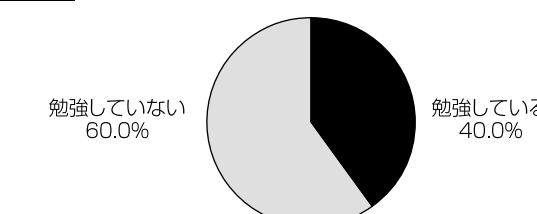
グラフ1 賃金や昇進、仕事の評価に男女差はある?



グラフ2 女性の活用について積極的?



グラフ3 管理職になるために、自分自身で勉強している?



<調査概要>

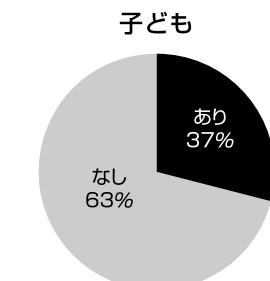
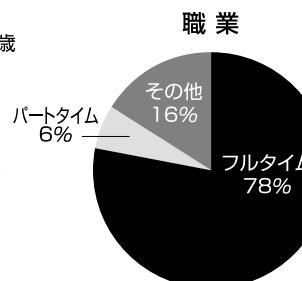
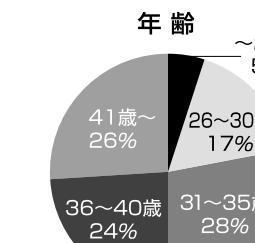
調査実施:2007年3月8日(木)～3月13日(火)

調査方法:インターネットによる自記入式アンケート

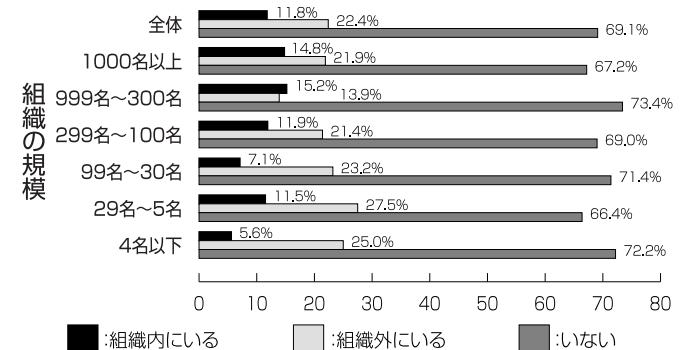
対象:イー・ウーマンリーダーズ

有効回答数:625名

## LEADERS DATA



グラフ4 メンターはいる?



グラフ5 女性が活躍するためにどんな変化があるといい?

